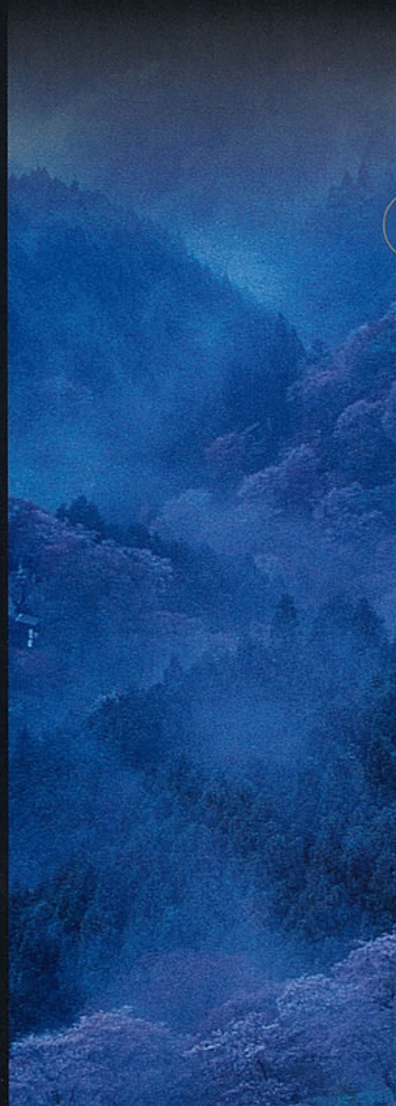


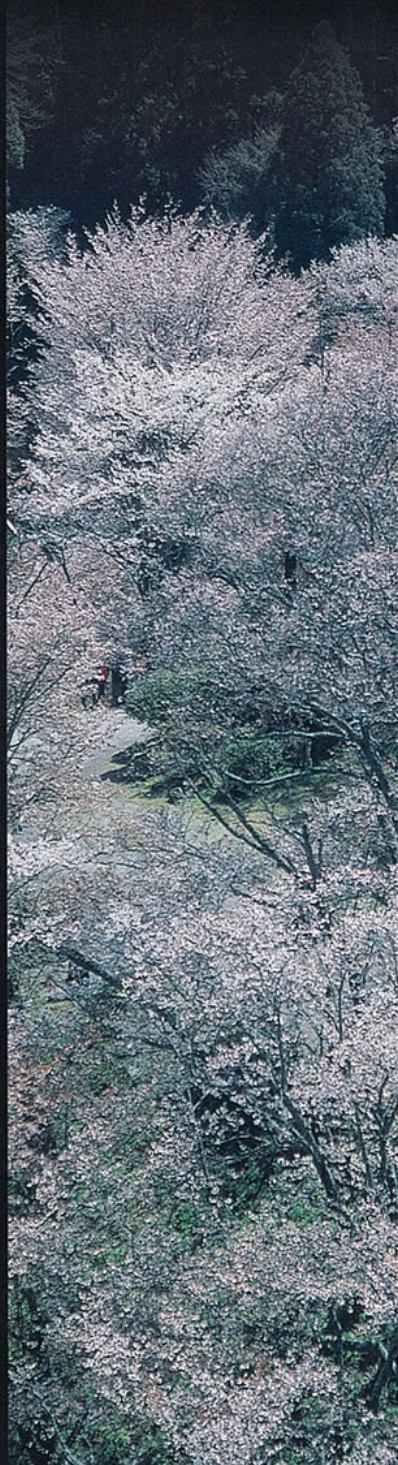


紀伊山地の霊場と参詣道



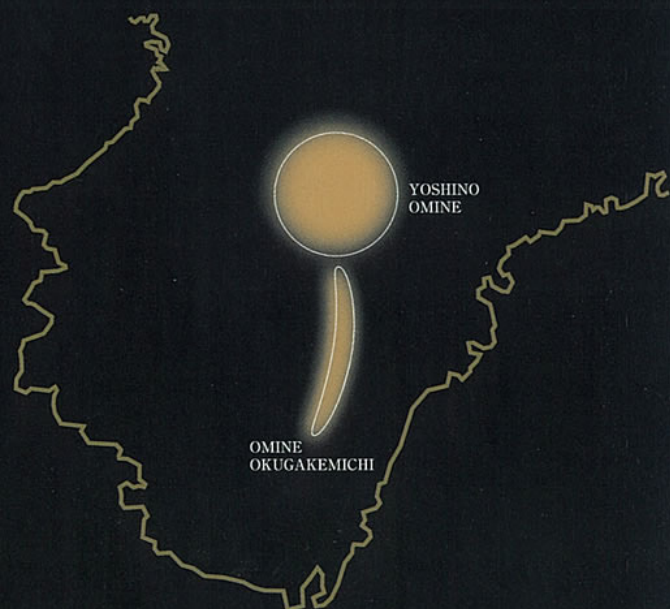
WORLD
HERITAGE

奈良県吉野町



世界遺産 吉野 大峯 大峯奥駈道

紀伊山地の霊場と参詣道



世界遺産 吉野・大峯に忘れかけていた
日本の心髄をみる

世界に誇る『文化的景観』

山岳信仰の霊場と山岳修行の道

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のキーワードでもある『文化的景観』という言葉は、「人間と自然環境との相互作用の様々な表現」を意味します。吉野・大峯地域においては、「信仰や宗教、文学、芸術活動などと関連する聖山としての景観」と言い換えてもよいでしょう。

吉野・大峯地域には、金峯山寺蔵王堂をはじめとする文化財が数多く残されています。それらの文化財建造物や大峯奥駈道などは、太古の昔から人々の信仰の対象とされ、修行の道場とされてきました。そして、現代に至ってもなお、大自然を舞台として、多くの人々によって修行が続けられています。世界遺産「吉野・大峯」は単なる寺社と道ではなく、正に「山岳信仰の霊場と山岳修行の道」なのです。



荘厳な歴史と 自然が織り成した 軌跡がここにある

世界遺産に登録された

霊場『吉野・大峯』（紀伊山地の霊場と参詣道）

紀伊半島の南半分に広がる紀伊山地は、神話の時代より神々が鎮まる特別な地域とされてきました。その結果、起源や内容を異にする「吉野・大峯」「高野山」「熊野三山」の三つの霊場とそこに至る参詣の道、あるいは修行の道が生まれ、都をはじめ全国から多くの人々が訪れるところとなりました。なかでも吉野・大峯地域には、日本古来の山岳信仰に外来の仏教、道教、陰陽道などが融合した我が国独自の宗教「修験道」が生まれ、皇族貴族から一般庶民に至るまで広く信仰を集め、我が国の文化の発展と交流に大きな影響を及ぼしたのです。

その修験道の文化が今も色濃く残る吉野・大峯地域を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が、ユネスコの世界遺産に登録されました。金峯山寺、吉水神社、吉野水分神社、大峯山寺、玉置神社の指定文化財建造物や、桜に彩られる史跡名勝吉野山、山伏の修行の道である史跡大峯奥駈道が、吉野大峯地域におけるその中核的資産とされています。これらは、世界でも類を見ない貴重な資産として価値の高いものです。



吉野を楽しむ

■吉野町の主な年中行事

- 浄見原神社国栖奏 ……旧正月14日
- 蔵王堂鬼火の祭典 ……2月3日
- 吉野水分神社お田植祭 ……4月3日
- 蔵王堂花供会式 ……4月11・12日
- 吉野神宮春の大祭 ……4月29日(祝)
- 吉野川あゆ漁解禁 ……5月26日
- 蔵王堂蛙飛び ……7月7日
- 吉野神宮秋の大祭 ……9月27日
- 吉野山秋まつり ……10月第3日曜日



蔵王堂蛙飛び



蔵王堂鬼火の祭典



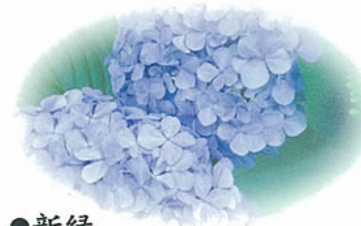
吉野水分神社お田植祭



吉野山秋祭り

花の歳時記

- 桜 吉野山一帯(下千本～中千本～上千本～奥千本)=4月上旬～下旬
- つつじ(ヤマツツジ) 吉野山・津風呂湖畔=4月下旬～5月上旬



- 新緑 吉野山一帯=5月上旬～6月上旬
- あじさい 吉野山 下千本七曲り=6月～7月上旬
- 紅葉 吉野山一帯=11月上旬～下旬



●お宿のご案内

	所在地	旅館名	旅館名	収容定員
			吉野局 0746	
宿坊	吉野山	桜本坊	32-5011	200名
		喜蔵院	32-3014	120名
		東南院	32-3005	150名
旅館	吉野山	竹林院群芳園	32-8081	350名
		景勝の宿 芳雲館	32-3001	180名
		桜花壇	32-5533	50名
		坂本屋	32-3051	30名
		湯元宝の家	32-5121	100名
		戎館	32-3031	100名
		吉野館	32-3039	80名
		吉野温泉元湯	32-3061	40名
		吉野荘湯川屋	32-3004	100名
		さこや	32-5155	180名
		辰巳屋	32-3023	230名
		千本桜	32-3036	30名
		かとう	32-3177	60名
	上市	たたや	32-5984	25名
		桜亭	32-2132	15名
民宿	吉野山	宮滝 宮滝温泉まつや	32-8015	30名
		美吉野	32-2111	50名
		桜山荘花屋	32-5083	60名
		新富	32-4032	50名
		宝山荘太鼓判	32-3071	100名
		一休庵	32-3118	40名
		桜美荘たいら	32-3125	15名
	菜摘	南谷	32-0692	12名
		津風呂湖 一龍	32-2886	24名

A C C E S S

●吉野への交通ガイド

鉄道

■大阪方面から

- 近鉄あべの橋駅から吉野行特急(約1時間15分)
- JR天王寺駅から王寺・吉野口駅のりかえ(約1時間30分)

■京都方面から

- 近鉄京都駅から橿原神宮前駅のりかえ(特急約1時間30分)

■奈良方面から

- 近鉄奈良駅から西大寺・橿原神宮前駅のりかえ(特急約1時間5分)

■名古屋・伊勢方面から

- 近鉄宇治山田駅・伊勢市駅から八木・橿原神宮前駅のりかえ(特急約2時間)

■高野山・和歌山方面から

- 高野山からJR橋本・吉野口駅のりかえ(約1時間50分)
- JR和歌山駅から吉野口駅のりかえ(約2時間20分)

※吉野山へは近鉄吉野駅下車・ロープウェイ

自動車

■大阪(市内)から

- 西名阪自動車道「郡山J.C.」からR24で橿原経由R169(約2時間)
- 阪和自動車道「美原ジャンクション」から南阪奈道路「葛城J.C.」を経て、R165(高田バイパス) 橿原経由、R169(約1時間)

■名古屋(市内)から

- 東名阪自動車道から名阪国道「針J.C.」を経てR369・R370(約3時間)

【吉野山観光駐車場】

待合所・トイレ・洗面所完備

駐車場収容能力:大型バス100台、乗用車500台



●お問合せ 奈良県吉野町役場 ☎639-3192 奈良県吉野郡吉野町上市80-1

TEL.0746-32-3081(代) FAX.0746-32-8855

吉野町

検索

URL <http://www.town.yoshino.nara.jp/>

「吉野大峯」に育まれた精神

太陽・月・山・川・滝・木・岩・・・かつて、日本人は大自然の全てを神仏としていました。大自然の全てに手を合わせ、頭を垂れ、大自然から恵みを受けて生きていたのです。大自然の全てを敬い、全ての価値観を認めることが日本人の心の源流といえるでしょう。この精神文化は、役行者の創始以来1300年の時を超えて、修験道の世界に今も色濃く残っています。修験者（山伏）は、厳しい大自然の中に身をおいて、山川草木悉くを神仏と感じながら、大自然を拝み、祈り、歩きます。彼らの最極の道場が霊場「吉野大峯」と修行の道「大峯奥駈道」なのです。

大峯山寺（本堂：重要文化財）

大峯山の中心である山上ヶ岳の山頂にある寺です。明治初年の神仏分離以前は金峯山寺の山上蔵王堂と呼ばれていました。この寺は毎年5月3日から9月23日までの間だけ開かれ、本堂内には中央に金剛蔵王権現、右側に役行者像が2体祀られています。金剛蔵王権現は、役行者が山上ヶ岳で苦行の後に感得した日本独自の仏で修験道の本尊とされています。

玉置神社（社務所及び台所：重要文化財）

熊野から吉野に至る大峯奥駈道の10番目の驛（拝所）として行者の往来も盛んだった玉置山の頂上近くにある神社です。重要文化財の社務所（元高牟婁院）には狩野派の筆による極彩色の杉板襖70枚があり、この襖全てが一枚板でできています。境内には天然記念物に指定されている神代杉・常立杉など樹齢千年を超える巨杉群があります。

大峯奥駈道

大峯奥駈道（史跡）

紀伊半島の脊梁・大峰山脈の稜線伝いに続く修験道の修行の道です。北は吉野から南は熊野まで約170kmにも及ぶこの道には、75箇所の驛と呼ばれる拝所や行場が設けられています。修験者（山伏）にとって、大峯奥駈道は曼荼羅の世界であり、最極の修行道場とされているのです。

熊野本宮大社（重要文化財）

速玉大社（新宮）と那智大社とともに熊野三山として信仰を集め、平安時代には王侯貴族の参詣も多く、“蟻の熊野詣で”と称されるほど多くの人々で賑わったところです。また、大峯奥駈道の第1番目の驛（拝所）として奥駈修行の南の起終点にあたり、明治初年までは神仏混淆の修験道の道場として栄えたところでもあります。

金峯山寺 蔵王堂（国宝）

吉野山のシンボルでもある蔵王堂は、金峯山寺の本堂です。本尊蔵王権現三体のほか、多くの尊像を安置しており、重層入母屋造り、桧皮葺きで棟の高さ33.9m、桁行25.8m、梁間27.3mの堂々とした威容を誇っています。寺伝では白鳳年間に役行者（えんのぎやうじゃ）が創建したといわれ、現在の建物は1592年（天正20年）の再建です。68本の柱で支えられていますが、中にはツツジや梨の木の柱もあります。

金峯山寺 仁王門（国宝）

仁王門は重層入母屋造りで、3間1戸、本瓦葺の楼門です。この門は金峯山寺の北門で、棟の高さは20.3m、桁行12.3m、梁間6.9mのわが国屈指の山門といわれています。現在の建物は上層が康正年間（1455～1457）、下層が南北朝時代の建造と考えられています。身の丈5.3mの仁王像には、大仏師・康成（こうせい）によって造られた墨書銘があります。

金峯山寺 銅の鳥居（重要文化財）

銅の鳥居の本来の名称は、「発心門」といい、菩提心を発するところとされ、初めて大峯修行を志す行者の行場の一つです。高さ7.6m。創立年代は不明ですが、聖武天皇が奈良の大仏の余銅で作られたという伝説があります。金峯山四門の第一門で、山上ヶ岳までの間に「修行」「等覚」「妙覚」の三つの門が後に続きます。



大峯山寺



大峯奥駈道



玉置神社社務所



熊野本宮大社

文化こそ日本人の心の源流



金峯山寺 蔵王堂 (きんぶせんじ ざおうどう)



金峯山寺仁王門 (きんぶせんじ におうもん)



金峯山寺銅の鳥居 (きんぶせんじ かねのとりい)

吉水神社(書院:重要文化財)

元は金峯山寺の僧坊で吉水院と呼ばれたところですが、明治の廃仏毀釈で神社となりました。後醍醐天皇の行宮として使用され、源義経と静御前らが身を隠したところでもあり、豊臣秀吉の花見の際には本陣にもなったところです。単層入母屋造り檜皮葺きの書院には南朝時代の古文書や秀吉の花見で使われた楽器など100点以上を所蔵しています。

吉野水分神社(重要文化財)

水の分配を司る天之水分(あめのみくまり)大神を主神としている神社で、「みくまりが御子守」(みこもり)となまって俗に子守明神、子守さんとも呼ばれて親しまれ、子授けの神として信仰されています。社殿は豊臣秀頼が再建したもので、本殿、拝殿、幣殿、楼門、回廊からなる桃山時代の大変美しい建築です。



吉水神社 (よしみずじんじや)



吉野水分神社 (よしのみくまりじんじや)

吉野の大峯



吉野山(史跡・名勝)

大峰山脈の北端に位置し、東西を急峻な谷に挟まれた馬の背のような尾根上に、金峯山寺の寺内町として発展してきた地域です。役行者の開山以来、修験道の聖地として信仰を集め、源義経と静御前の悲話、後醍醐天皇をはじめとする南朝の歴史など数多くの歴史の舞台となりました。また、修験道の本尊蔵王権現の聖木として桜の植樹が盛んに行なわれたことから、平安時代以降、我が国屈指の桜の名所としても知られています。



1 吉野神宮 (よしのじんぐう)

祭神は後醍醐天皇です。この神社のある地は吉野山の北裾で、丈六平といわれた台地。もとは丈六山一之蔵王堂があったところでした。

吉野神宮駅から
約20分

吉野神宮駅
徒歩約20分
吉野神宮



2 金峯山寺 (きんぶせんじ)

修験道の総本山です。本堂である蔵王堂は高さ約34mで、役行者が開き、蔵王権現をまつたのが始まり。木造建築では東大寺大仏殿に次ぐスケールです。

吉野駅から
約15分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約10分
金峯山寺蔵王堂



3 吉野朝宮跡 (よしのちようぐうあと)

金峯山寺蔵王堂の西にあり、南北朝時代、後醍醐天皇から4代にわたって南朝の拠点となった皇居跡です。今は妙法殿が建っています。

吉野駅から
約15分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約10分
吉野朝宮跡



4 東南院 (とうなんいん)

役行者の開基の寺です。金峯山寺蔵王堂を開く折に東南の方向に建てられたことから名がつけました。大峯山の護持院のひとつで美しい多宝塔が有名です。

吉野駅から
約20分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約15分
東南院



5 吉水神社 (よしみずじんじや)

秋は紅葉が見事なこの神社は、もとは役行者が大峯山で修行をした折に庵室跡に建立したと伝わる吉水院というお寺。数々の宝物が保存されています。

吉野駅から
約25分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約20分
吉水神社



6 大日寺 (だいにちじ)

本尊は平安後期、藤原時代の作と伝えられる五智如来像で、大日如来を中心に五体の如来を配置している寺です。台座の宝相華もお見逃しなく。

吉野駅から
約30分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約25分
大日寺



7 勝手神社 (かってじんじや)

勝負の神、芸能の神として信仰を集めた神社で、境内には義経と別れた静御前が舞いを演じたという伝説の地・舞塚があります。社殿は平成13年9月に焼失。

吉野駅から
約25分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約20分
勝手神社



8 喜蔵院 (きそういん)

智証大師創建の大峯山護持院の一つで、江戸時代、陽明学者・熊沢蕃山が由比正雪の乱の際に、しばらく身を隠した所です。ユースホステルを兼ねています。

吉野駅から
約35分

吉野駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約30分
喜蔵院



9 竹林院 (ちくりんいん)

大峯山護持院の一つで、大和三庭園の一つに数えられる群芳園があります。池泉回遊式の借景庭園で千利休が作庭し細川幽斎が改修したものです。

吉野駅から
約40分

吉野神宮駅
ロープウェイ5分
吉野山駅
徒歩約35分
竹林院

世界遺産「吉野」 長い歴史と伝統文化が織り



まだまだ魅力いっぱいの
悠久の風景 吉野



野」を歩こう

なす吉野路は見どころ満載



10 桜本坊 (さくらもとぼう)

大峯山護持院の一つです。魔仏毀釈の際に各塔頭の仏像を収容したので諸仏堂とも呼ばれています。ポーズや衣紋が個性的な釈迦如来像は白鳳時代のものです。

吉野駅から
約40分

吉野駅
吉野山駅
徒歩約35分
桜本坊



11 如意輪寺 (にょいりんじ)

中千本の桜に囲まれた古刹です。後醍醐天皇の信仰が厚く、裏手には天皇陵があります。宝物殿には蔵王権現像や楠木正行が歌を刻んだ屏が納められています。

吉野駅から
約45分

吉野駅
吉野山駅
徒歩約40分
如意輪寺



12 後醍醐天皇陵 (ごたいてんのうりょう)

如意輪寺の裏山にある直径約27mの小さな円墳で、京都奪回を果せなかった無念を感じます。天皇陵は南面に築くのが普通ですが、この陵は北面に向いています。

吉野駅から
約45分

吉野駅
吉野山駅
徒歩約40分
後醍醐天皇陵



13 吉野水分神社 (よしのみくみんじや)

一間社春日造りの左右に三間社流造りが並ぶ華麗な本殿がある神社です。水の神を祀っていますが、地元では子宝安産の神様としても親しまれています。

吉野駅から
約50分

吉野駅
吉野山駅
吉野大寺ヶ丸
徒歩約30分
竹林院前
吉野水分神社



14 金峯神社 (きんぷじんじや)

吉野山奥千本の入口あたりにある神社です。祭神は吉野山の地主神で、修験道の行場のひとつ。奥駈道はこの社から本格的な修行の道らしくなります。

吉野駅から
約40分

吉野駅
吉野山駅
吉野大寺ヶ丸
徒歩約5分
奥千本口
金峯神社



15 義経隠れ塔 (よしのたかくれとう)

源義経が弁慶や佐藤忠信らとともに隠れたと伝わる蹴抜けの塔です。宝形造りの簡素なお堂で、行者は真っ暗な塔内で俗気を抜くといひます。

吉野駅から
約40分

吉野駅
吉野山駅
吉野大寺ヶ丸
徒歩約5分
奥千本口
義経隠れ塔



16 西行庵 (さいぎょうあん)

西行が3年間に過ごした小さな庵です。苔むした杉皮葺きのたたずまいは侘び住まいの風情があります。西行や芭蕉が詠んだ苔清水は今もこんこんと湧き出ています。

吉野駅から
約55分

吉野駅
吉野山駅
吉野大寺ヶ丸
徒歩約20分
奥千本口
西行庵



17 津風呂湖 (つぶろこ)

1961(昭和36)年に津風呂川をせき止めて造られた人造湖です。遊覧船やボート、釣りや湖畔サイクリング、ハイキングを楽しむ人たちが訪れています。

大和上市駅から
約40分

大和上市駅
津風呂湖口
徒歩約30分
津風呂湖

宮 滝

水はエメラルド・グリーンから深い青まで、季節や天候でさまざまに変化し、美しい峡谷をつくっている。万葉の昔から数々の歌に詠まれた景勝地というの納得できる。

吉野宮滝万葉の道

吉野駅をスタートし吉野山・中千本から万葉ゆかりの象(きさ)の小川に沿って宮滝までくだる道です。全行程約8km、およそ3時間のコースです。

宮滝遺跡

宮滝付近からは建物跡や縄文・弥生時代の遺跡・遺構が出土しており、天武・持統天皇が訪れた吉野の宮跡としても知られています。

吉野歴史資料館

宮滝遺跡の遺物等を展示し、吉野の歩みと文化を学ぶ事ができます。吉野離宮に関する資料も必見。問い合わせTEL0746-32-1349

国栖の里

吉野町の東部・国栖地方では昔ながらの紙漉きや割箸づくりがさかんです。また、木工、陶芸、ガラス工芸、エッチングなどの工房もあり、体験ができます。問い合わせTEL0746-36-6838